

Mizuho Daily Market Report

2026/2/23

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.45	155.05	+0.04	+2.35
EUR	1.1751	1.1784	+0.0011	▲0.0084
AUD	0.7042	0.7081	+0.0025	+0.0008
SGD	1.2696	1.2673	▲0.0010	+0.0044
CNY	6.9048	6.9049	+0.0000	+0.0000
MYR	3.9034	3.9030	▲0.0060	▲0.0048
THB	31.20	31.19	+0.02	+0.12
IDR	16890	16873	▲7	+34
PHP	58.16	58.15	+0.15	+0.12
INR	90.97	90.99	+0.31	+0.35
VND	25970	25969	+0	▲1

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.083%	+1.5 bp	+3.4 bp
日本(10年)	2.121%	▲2.9 bp	▲10.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.737%	▲0.6 bp	▲1.8 bp
オーストラリア(5年)	4.387%	▲5.4 bp	▲0.2 bp
シンガポール(5年)	1.565%	+1.5 bp	+2.3 bp
中国(5年)	1.549%	+0.0 bp	+0.0 bp
マレーシア(5年)	3.297%	+0.0 bp	▲0.5 bp
タイ(5年)	1.315%	▲0.2 bp	+3.0 bp
インドネシア(5年)	5.785%	+1.0 bp	+7.3 bp
フィリピン(5年)	5.528%	▲2.7 bp	▲1.6 bp
インド(5年)	6.454%	+5.1 bp	+2.0 bp
ベトナム(5年)	3.754%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	49,625.97	+0.5%	+0.3%
N225(日本)	56,825.70	▲1.1%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	6,131.31	+1.2%	+2.4%
ASX(オーストラリア)	5,745.21	+0.6%	+2.2%
FTSTI(シンガポール)	5,017.60	+0.3%	+1.6%
SSEC(中国)	4,082.07	+0.0%	+0.0%
SENSEX(インド)	82,814.71	+0.4%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	8,271.77	▲0.0%	+0.7%
KLSE(マレーシア)	1,752.83	+0.0%	+0.8%
PSE(フィリピン)	6,465.12	+0.9%	+1.3%
SETI(タイ)	1,479.71	▲1.0%	+3.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,824.09	+0.0%	+0.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	311.02	+0.6%	+1.5%
金	5,107.45	+2.2%	+1.3%
原油(WTI)	66.39	▲0.1%	+1.1%
銅	12,880.95	+1.3%	+0.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.70	—	155.40
EUR/USD	1.1670	—	1.2050
AUD/USD	0.6785	—	0.7280
USD/SGD	1.2560	—	1.2830
USD/CNY	6.8960	—	7.0440
USD/MYR	3.8800	—	4.0130
USD/THB	30.50	—	32.10
USD/IDR	16550	—	17000
USD/PHP	56.10	—	59.90
USD/INR	89.70	—	92.50
USD/VND	25,700	—	26,100

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は、155円台前半でオープン。朝方は本邦1月CPIの軟調な結果を受けた円売り優勢の展開も、155円台に乗せてからは材料出尽くし感などから上値重く推移し、155円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は、総じて狭いレンジの動きとなった。しかし、前日にフィリピン中銀が利下げしたフィリピンペソは続落し、1週間ぶり安値となった。

欧州時間でのドル円は、狭いレンジでの推移が続き、155円台前半でNYオープン。NY朝方は米第4四半期GDP(第一次速報値)が予想を大きく下回るが、PCE価格指数が予想を上回り、155円台半ばまで戻す。続いて発表された米12月新築住宅販売件数は予想を上回るが、ミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回り、短期、長期の期待インフレも予想比下振れし、154円台後半まで下落する。しかし、米連邦最高裁判所がトランプ政権の相互関税に対して違憲の判決を示したことを好感し、株式市場が上昇する展開にドル円は下値をサポートされ、155円付近でクロースした。

【金利】

前営業日の米債利回りは上昇。米国時間前にやや水準を下げて始まるも、米12月PCE価格指数が予想を上振れたことで米10年債利回りは4.07%台に上昇。その後、米連邦最高裁判所がトランプ政権の相互関税に対して違憲の判決を示したことで、米10年債利回りは4.10%台まで急上昇。その後、トランプ大統領がSection122を用いて10%関税を課すと述べたことなどからやや水準を戻し、米10年債利回りは前日比+1.5bpの4.083%で引けた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開となると予想。本日は東京休日ということもあり、閑散な地合いとなりそう。その中でも、先週金曜日には公表された相互関税の違憲判決では、公表直後にはドル円は円高方向で反応していることもあり、基本的には緩やかな円高材料か。とはいえ、今後も相互関税に関わる続報が出てくる可能性もあり、ヘッドラインに踊らされる展開には留意が必要となりそう。

【本日の予定】

(日本) 休場 天皇誕生日
(アジア) 1月 シンガポール CPI
(アジア) 2月 韓国 輸入 20日間 / 輸出 20日間
(アジア) 4Q NZ 小売売上高
(アジア) 休場 中国
(欧州) 1月 伊 CPI(確)
(欧州) 2月 独 IFO企業景況感指数
(欧州) EU外相理事会(ブリュッセル)
(欧州) ラルド ECB総裁講演
(米国) 12月 製造業受注 / 耐久財受注(確)
(米国) 1月 シカゴ連銀全米活動指数
(米国) 2月 ダラス連銀製造業活動
(米国) ウォラーFRB理事講演

せん。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。